

人工衛星データを用いた砂浜の変化観測について

- 令和4年11月から、鳥取大学と鳥取県で共同連携し、試験的な取り組みとして、鳥取県東部の砂浜の変化状況を把握することを目的とした人工衛星データを用いた観測を開始した。
- 観測にあたっては、観測精度の向上を図るため、人工衛星からの電波信号を反射させる装置(衛星マーカー)を砂浜近傍に設置することとし、岩美海岸(陸上地区)を対象として、遮蔽物がない場所に据え付けた。
- 砂浜のモニタリングのために行っている深浅・汀線測量の補完として、また、現在問題となっている浜崖や海岸侵食の察知など、今回の取り組みを通じてその活用方法等について検証していきたい。

